

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立川中小学校

学習環境の整備

子どもの思いや願いを生かした学習活動を構成し、学びを豊かにする。

具体的な取組の内容(1)



4月に、学級を解体して、全学年で自己紹介ゲームを行い他学級の子ども同士で交流を図った。

3学期に、再度学級を解体し、国語・算数の合科としておみせやさんごっこを参観日に行った。



成果

学校では、学級単位での活動が多いが、学級ごとの壁を作らないためにも、1年間を通して他学級と交流する活動を多く仕組んだ。4月は、出身保育園・幼稚園の友達と離れて不安な児童が安心して学校生活になじむため、3学期は、2年でのクラス替えを見据えて行った。その結果、違う学級でも、気兼ねなく話したり、遊んだりする児童の姿が見られるようになった。

具体的な取組の内容(2)



5月の運動会で、6年生といっしょに障害走を行った。練習も合同で行い、大きなパンツに6年生とペアで入り、懸命に走った。



2月の予備入学で、新1年生と交流をした。先輩として、学校で学んだ楽しい学習を教えてあげようと、話し合ったり、練習をしたりと準備をして臨んだ。



成果

6年生とはいろいろな場面で交流をしてきたが、運動会での競技では特に6年生の優しさや頼りがいがある姿に触れ、憧れの目で見つめていた。6年生も、下学年への接し方を学ぶよい機会となっていた。

異学年交流や幼稚園・保育園児との交流を通して、学校生活で大切なことや、先輩後輩との接し方を学び、自分自身の成長等を見つめることができた。